

多ジャンルの表現者による実験的な舞台表現の実施「ニシガワ図鑑Ⅳ」

「ニシガワ図鑑」実行委員会

活動の目的

異なるジャンルの表現者が互いに知り合い、刺激し合いコラボレーションすることで、実験的かつ希望する形の舞台表現を実現できる場を提供する。また観客にとっては、県内外で活動する数多くの表現者を知り、新たな芸術に触れ楽しみが増える機会となる。そうなることで、各ジャンルの観客層を広げ、岡山における舞台芸術という文化が、より高まり広がっていくことを目的とする。

活動の内容及び経過

2019年5月：本計画の作成。6月～9月：参加者募集・決定。演出家関美能留氏へ総合演出の依頼。アーティスト李侖京氏へ舞台美術製作の依頼。9月～10月：随時実行委員会と参加者との面談を実施し、チーム（コラボレーション）を決定（7公演＋関連企画の計8チーム）。各チームはテーマを決めてクリエイションへ進む。11月：全参加者と実行委員会との合同会議の実施。12月：運営委員会の発足。チラシの作成・配布・Web上での情報公開。2019年12月～2020年2月：子ども参加の公演のための事前ワークショップの実施。2020年1月：演出家・照明家・音響担当と各チームとの打ち合わせの実施。2月23日：関連企画のプレ企画 映画『生きているだけで、愛』をオリエント美術館地下講堂にて上映。監督（関根光才氏）が来岡し、トークショーを実施。参加者30名。2月25日：新型コロナウイルス感染症の拡大予防措置についての記事をWeb上へ掲載。3月1日：8チーム中4チーム（学生や子供の多く出演するチーム）が上演辞退となったことを受け、実行委員会で話し合いのうえ、3月15日～3月21日のスケジュール変更を行いながらの縮小開催（4公演）とすることを決定。告知と各所へのお知らせをする。

2019年3月15日（1チーム＋関連企画）、19日（1チーム）・21日（1チーム）の公演を下記のとおり西川アイプラザ5Fホールにて行う。

3/15（日）開演13:00『生命と環境の舞台図鑑 Come back! かぐや姫』（演劇・ダンス・語り）／3/15（日）開演16:00関連企画『岡本太郎ポケット図鑑』（ドキュメンタリー映画『太陽の塔』（監督：関根光才）の上映・舞踏・トーク）／3/19（木）開演19:00『舞踏図鑑・羊水記憶』（舞踏・映像・朗読）／3/21（土）開演19:00『彷徨図鑑』（ダンス・手話・映像）

■参加者：24名、観客：のべ200名、スタッフ（実行委員除く）：15名

活動の成果・効果

- 他県からの移住者の参加者に対して、スタッフの確保や金銭面での負担を心配することなく、表現者としての新たな一歩を踏み出す場の提供とサポートを行い、彼らの今後の活動への後押しができた。
- 聴覚障害者が参加した舞台では「舞台表現」としての手話を観たお客様から、コミュニケーションの多様性や手話言語への興味を持ってもらうきっかけとなった。また参加者（聴覚障害者）からは「様々な方との交流や達成感を通じて、表現や芸術に対する関心を高めるきっかけとなった」とありがたい感想をいただくことができた。
- 新型コロナウイルス感染予防対策において、開催についての早急な判断と予防対策の具体的な実施が求められる中、首相会見と専門家会議の見解を受け、実行委員会と共催のクラレテクノ株式会社（西川アイプラザ指定管理者）が連携し、予防対策を講じながらのスケジュール変更を伴う縮小開催に至った。



・具体的な対策：館内の消毒液の設置／スタッフのマスクの着用と手の消毒の徹底／5Fの換気（1時間を超える公演は上演中にホールの換気の実施・巨大扇風機でホール内の空気を流動させる等）／間隔を開けるための座席の封鎖／公演ごとにホール（扉の取っ手・座席）、ロビー（机・椅子）、トイレ、アンケート記入用の鉛筆の消毒の実施／お客様には張り出しとパンフレットへの挟み込みで注意事項の喚起／お客様へ、ホールへ入場の際に、ご了承をいただき手に消毒液の吹きかけ／もし体調の悪い方がでた時の対策の徹底（フローチャート）と隔離のための控室の設置／お客様・出入りしたスタッフ全員の氏名・住所・連絡先の日にちごとの明記（西川アイプラザが管理）

上演の有無は参加者（各公演の企画者）の判断に委ねた。開催の決定は岡山県内に感染者の出していない、3月上旬時点での判断なので「どのようにして開催するか」について、芸術を扱う催しの実行委員会としての考えと言葉を整理し、HPとFacebook上で逐次発信し、実行することの重要性を実感した。今回の開催に至る一連の作業は、団体及び個人レベルにおいて、これからの活動に大いに生かされることと確信している。また共催のクラレテクノ株式会社（西川アイプラザ指定管理者）の協力で深く感謝したい。

- お客様からは開催に関しての感謝のお言葉をいただくことも多く、今回のような、催しの開催自体が困難な状況下での、人間の芸術を求める欲求と開催の意義を深く考える機会となった。また、危機管理と早急な対策の実行について、団体としての意識を高めることができた。活動の継続をもって、今後も表現者同士また表現者と観客（市民）の舞台芸術を通じた架け橋となり、少しずつでも文化芸術活動の裾野を広げることへ貢献していきたい。

今後の課題と問題点

出演団体の上演辞退に加えて、2月末以降の広報は控えざるを得ない状況から、チケット収入による予算が大幅に減少した。予算の組み直しの結果、総合演出家の滞在日数を減らすこととなり、舞台関係のスタッフへの負担が増えた。結果、そもそも担当スタッフの人数が少ないので、今回のような事態の場合、スタッフはより大きな責任と緊張を強いられることとなった。

- 代表者：額田信一 ● 所在地：岡山市北区津高台
- TEL：086-252-3910 ● E-MAIL：westside_zukan@yahoo.co.jp
- URL：https://nishigawa-zukan.com
- Facebook：https://www.facebook.com/nisigawazukan
- 設立年：2016年 ● メンバー数：15名